

平成 30 年 5 月 10 日

各 位

フィンテック グローバル株式会社
代表取締役社長 玉 井 信 光
(コード番号：8789 東証マザーズ)
問合せ先：取締役 上席執行役員 千田 高
電 話 番 号 ： (0 3) 6 4 5 6 - 4 6 0 0

第 2 四半期連結累計期間業績と前年同期実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 9 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)における業績につき、業績予想をしておりますので、前年同期との対比について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成30年 9 月期第 2 四半期連結累計期間 (平成29年10月 1 日～平成30年 3 月31日) 業績と前年同期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前年同期実績 (A)	4,062	△139	△101	△122	△0.76
今回発表業績 (B)	1,713	△610	△706	△414	△2.53
増減額 (B-A)	△2,348	△470	△604	△291	—
増減率 (%)	△57.8	—	—	—	—

2. 差異の理由

当第 2 四半期連結累計期間の売上高は、不動産事業の子会社売却により当該子会社の連結除外(同事業の前年同期の売上高は 2,003 百万円)等により、1,713 百万円(前年同期比 57.8%減)、売上総利益は 970 百万円(前年同期比 18.3%減)となりましたが、売上高総利益率は前年同期から 27.5 ポイント上昇して 56.7%となりました。販売費及び一般管理費は、不動産事業の費用がなくなったものの、開業準備を進めるメツツァについて多くの来場者にご満足いただくための運営体制構築を進めたことによる費用 3.4 億円や本社移転による一時的な地代家賃の増加により 1,581 百万円(前年同期比 19.1%増)となり、営業損失は 610 百万円(前年同期は 139 百万円の損失)となりました。経常損失は為替差損 59 百万円により 706 百万円(前年同期は 101 百万円の損失)となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純損失は不動産事業の子会社株式売却により特別利益に係る会社株式売却益 267 百万円を計上したことにより 414 百万円(前年同期は 122 百万円の損失)となりました。

以 上